

第14回牧水・短歌甲子園 今年も熱かった 8/17~18

31校 52チームから選ばれた12校の高校生たちが日向市に集結!!の予定でしたが、日向灘を震源とする地震発生と台風7号接近により3校が欠場となりました。多少の変更はあったものの、今年も例年どおりの熱い戦いが繰り広げられました。

結果抜粋

【団体戦】	優勝	〔沖縄県〕興南学園高等学校	初出場
	準優勝	〔宮崎県〕県立宮崎商業高等学校	出場11回
	第3位	〔神奈川県〕県立光陵高等学校	出場3回
	第3位	〔兵庫県〕灘高等学校	初出場

【個人戦】

【牧水賞】…来場者の投票で決まります 〔宮崎県〕尚学館高等部1年 請関 真歩 さん
窓の外見るふりをして君を見る白いブラウス夏はこれから

【若山牧水記念文学館長賞】 〔宮崎県〕尚学館高等部1年 森山 文結 さん
この恋が終われば死ぬと言いつつ百物語みたいなのを

観覧者の感想より

(略) 決勝は沖縄興南高校と宮崎商業高校。「パッ」と見て「スッ」と引き込まれる宮崎商業と「パッ」と見て「？」だけど、何度か口ずさむと「ジワリジワリ」奥行きが広がる興南高校。どちらも良い。とても良すぎる勝負。結果、興南高校初優勝!!ベクトルと素材が違うだけ。どちらも素晴らしい。(略)
文学・歴史が日常に浸透している宮崎・日向市 本当に最高です。

2日間の対戦ならびに講評、表彰式の様子は、YouTubeで視聴可能です。どうぞゆっくりご覧ください。今年も多くの話題を残し、牧水のふるさとでの熱い夏が終わりました。

牧水先生の後輩、大活躍の夏

☆☆ 牧水・短歌甲子園に出場し、【日向若山牧水顕彰会長賞】を受賞した日向高等学校2年生那須みらいさんは、牧水の母校坪谷小学校の卒業生です。

「あの頃はイケメンだったあの頃は…」父を横目にはずむ恋バナ

☆☆ 牧水かるた大会(8月23日開催)個人戦に出場し、みごと100枚取って優勝した東郷学園7年生柏田佳波さんも、牧水の母校坪谷小学校の卒業生です。昨年に続き連覇達成です。

牧水先生の一首

折に触れて出会う一首を紹介しています

つぼ

壺のなかにねむれるごとしこのふるさとかなしみに壺の透きとほれかし

つぼのなかに ねむれるごとし このふるさと かなしみにつぼの すきとおれかし

第6歌集『みなかみ』一章「故郷」134首に収められている一首。『みなかみ』には、病に倒れた父立蔵を看取り、これからのことをあれこれ思い悩む歌が多く収められている。中扉に「本書を亡き父に捧ぐ」とあり、亡父の写真、家の写真、家から見た坪谷川溪谷の写真が挿入されており、ふるさと坪谷の思いがたくさん詰まった一冊に仕上がっている。

ほっこりのおすそ分け

8月24日は牧水生誕の日

8月24日は牧水先生、生誕の日でした。生家ノートに・・・

2024.8.24

2022年から毎年来ています。

お誕生日おめでとう♡です。S.T

ショートケーキを買ってお祝いされた方もいらっしやうです。
みなさんの牧水愛、ステキすぎます。

あくがれて宇宙のどこか旅してる一三九歳の牧水さんは

(三世代のいちごつみ No.237 8月24日 伊藤一彦 より)